

2026年3月27日

GPIF の国内株式運用機関が選ぶ 「優れたサステナビリティ開示」企業に選定

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区）は、このたび、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の国内株式運用機関が選ぶ「マテリアリティの観点から『優れたサステナビリティ開示』を行う企業」として選定されました。TOPIX500 構成銘柄のうち、証券コード協議会が定める業種区分「非鉄金属」では、住友金属鉱山が唯一の選定です。

本選定は、GPIF が昨年度まで行っていた「優れた統合報告書」、「優れた TCFD 開示」などの選定を「優れたサステナビリティ開示」として一本化したもので、このたびの 2025 年度の選定においては 23 の運用機関が参加しました。

住友金属鉱山は、ステークホルダーの皆様との対話を継続・深化していけるよう、今後も統合報告書やウェブサイトなどを通じて、企業の持続的な成長と持続可能な社会の実現に向けた取り組みに関する情報の開示に努めてまいります。

<参考>

2026年3月17日 GPIF 公表資料：

https://www.gpif.go.jp/esg-stw/20260317_excellent_sustainability_disclosure.pdf

住友金属鉱山 統合報告書：https://www.smm.co.jp/ir/library/integrated_report/

住友金属鉱山 サステナビリティページ：<https://www.smm.co.jp/sustainability/>

<本件に関する報道関連のお問い合わせ>

住友金属鉱山株式会社 広報 IR 部 TEL: 03-3436-7705